

「一人の生活がある」

県と鹿児島JRに文書

ダイヤ改正見直し要請

JR九州が来年3月のダイヤ改正に合わせ、普通列車の減便と、ワンマン特急の拡大を検討している問題で、本県と鹿児島県は19日、合同で両社に見直しを要請した。河野知事は同日の定例会見で「少ないからといって利用者一人一人の生活がある。県民に不安が広がっているのを理解してほしい」と再考を求めた。(23面に関連記事)

福岡市の本社を、本県の郡行敏副知事と鹿児島県の岩事と三反園訓鹿児島県知事の連名による要請書を、同社の古富洋二常務取締役鉄道事業本部長へ手渡した。

その後の要請活動は非公開。郡行敏副知事によると、住民の不安を伝えたところ、同社側は「九州全体を面とどうえ、ネットワークを維持するための決定。理解を」と応じ

たという。直後、郡行敏副知事は「各県連携して繰り返し、見直しを要請していく」と強調した。

JR社長「ダイヤ適正」

JR九州の青柳俊彦社長は19日、ダイヤ改正に関し、宮崎日日新聞など報道各社の共同インタビューに応じた。本県など管内で117本と民間

化後最大の減便には「30年前から利用客が2分の1、3分の1となる中、先を見越し、輸送規模に適正なダイヤにして」と理解を求めた。また、

九州新幹線長崎ルートが暫定開業する2022年度まで

は、再度の大改正に踏み切る考えはないことを明らかにした。

しかし、19年以降のダイヤ改正是否せず、不採算路線の見直しに踏み切る可能性

は、このダイヤ改正是、日豊、日南、吉都線で普通列車便を計17本の削減(別に1本増

を求める県や沿線自治体、地域住民との意識の隔たりが明確に示された。

日豊線宮崎・鹿児島中央間の特急「きりしま」のうち、

また、会見で河野知事に路線が本当に維持され

のかという不安が住民にかかる」と指摘。地元に相談図るために恒常的に議論す

た。JRが互いに恵みを出し、特急で車掌を乗せないマ

今年3月から実施している間で検証中であり「検証整理がされないまま導入

の検討がなされるのはあり

ない」と批判した。

(鬼束功一、橋本恭輔)

て厳しいとして、復旧費と

試算される70億円をJRが単独で負担することに否定的な考え方を重ねて示した。

日田彦山線の沿線自治体が将来的な路線の在り方を検討するために設立する協議会年内開催は難しいとの見解示した。



JR九州の古宮常務(中央)へ普通列車減便などを要請した(右から)郡行敏副知事、岩田照夫宮崎県議会副議長=19日午後、JR九州議会議長、横田照夫本社(鬼束功一撮影)

採算の厳しい路線では「維持のための方針を地元と議論していかたい」と主張。ただ

九州北部の豪雨で被災した福岡、大分両県を結ぶ日田彦山線に関しては「経営的見れ

ばずつと前になくなっている路線」と経営の見通しが極め

道
合理化
跡

利用地況見えて修正も

代替バスは考へない

JR九州・青柳社長一問一答

JR九州の青柳俊彦社長(64)は19日、福岡市の本社で宮崎に応じた。本県では日豊、日南、吉都する間で改正について組合を17本削減、1本増便を強調し、関係者にしやがて改正に賛成だつと明確にした。

(1面に開連記事)



共同インタビューで記者の質問に答える青柳社長=19日午後
福岡市JR九州本社

来春のダイヤ改正概要の住民の利便性を維持する対応

発表を受け、本県など関係自治体から見直しを求める声があがつている。どう受け止められるか。

「今回のダイヤ改正では、最低限の鉄道の使命である通勤・通学の輸送などは確保している。私たちとしては現在

考えられるベストのダイヤであり、代替えのバスなどを用意するということは考えていない」

地域の要望を聞くうな機会を設ける考えは。

「年間を通してたくさんのご意見をいただいており、発着時刻の修正などに反映している。路線の実情に合った運行を考えるのは私たちの使命。(要望を聞く機会の開催は考えていない)

公共交通のネットワークの維持には地域との連携が必要であり、協議する場が必要と考える。

「そういう意見は真摯(jinji)に受け止めた。私たちから一方的に地方の方針が決まれば、それに従つていいきたい。交通ネットワーク維持にはいろんなやり方があり、ダイヤ改正や(自治体が線路などを保有してJR九州が運行する)上下分離方

式、バス輸送への振り替り一つ。地域の皆さん、コストと利便性を考慮して、どういう形で維持していくかを自分たちのこととして考えてほしい」

特急ワンマン運転区間拡大も見直しが求められる。

「ワンマン運転は鉄道事業の効率化の一環であり、宮鹿児島中央間での一部特急列車への導入はできるだけ早い時期に実施したい。次回ダイヤ改正に近い時期に会せてなければ考えておられることは求めたい」

(鬼東功)